

1. 2025 年次報告書の内容と配布

1月にお知らせをしました「2025 年次報告書」が完成しました。今回は7000部作成しています。印刷費用¥153,708 円(1部 22 円 カラー16P)となっています。お手数ですが皆様の組織へ配布をお願いします。

内容

① 本報告書の位置づけ(表紙・基本理念:P1~2)

本報告書は、パイプラインの現状と今後の方向性を共有するための保存版資料です。行政任せではなく、市民と行政が協働して課題解決を図る姿勢を明確にしています。

■ 重要ポイント

- ・ 「自分の街は自分でつくる」という主体性
- ・ 行政との協働の必要性
- ・ 次世代への継承を見据えた活動

② パイプラインの現状と使用期限(P3)

条例により使用期限が定められています。老朽化は確実に進行しており、内部損傷や雨水侵入による吸引力低下のリスクがあります。

■ 重要ポイント

- ・ 芦屋浜:2039年3月末まで
- ・ 南芦屋浜:2051年3月末まで
- ・ 「期限まで安全に使う」という現実的視点が重要です！

③ マナー違反ごみの実態(P4~5)

利用者起因のトラブルが発生し、設備停止や多額の税金支出につながっています。2025年度も複数件発生しています。

■ 重要ポイント

- ・ 利用者の行動が寿命を縮めている
- ・ 修復に数百万円単位の税金
- ・ 「ゼロ化運動」の必要性

④ 維持管理費の現状(P6)

年間約2億円規模の維持管理費がかかっています。補修材増加、臨時収集、備品購入等で費用は増加傾向です。

■ 重要ポイント

- ・ 6年間の費用推移を明示
- ・ 障害発生がコスト増に直結
- ・ 財政的持続性への警鐘

⑤ ごみ資源化の現状(P7)

芦屋市全体の資源化率は16.2%にとどまっています。CO₂排出量との関連も示しています。

■ 重要ポイント

- ・ リサイクル率は横ばい
- ・ ごみ減量は環境対策でもある
- ・ 地域行動が地球環境に直結

⑥ 利用者トラブルの具体例(P8)

カギ摩耗や投入方法の誤りによるトラブルが20件発生しています。正しい使い方で防止可能です。

■ 重要ポイント

- ・ カギは90度最後まで回す
- ・ 結び目は横にして投入
- ・ 小さな行動が大きな効果

⑦ 現在の吸引時間(P9)

2024年11月以降の運転スケジュールを明示しています。地区別に異なります。

■ 重要ポイント

- ・ 日曜は停止
- ・ 満杯のみ吸引の時間帯あり
- ・ ルール遵守の徹底

⑧ 代替施設の実証実験(P12~13)

老朽化に備え、住宅形態ごとに代替方式を試行する実証実験を2026年に実施予定です。方式決定ではなく、基礎資料収集が目的です。

■ 重要ポイント

- ・ パイプライン停止期間あり
- ・ 3方式×約1か月
- ・ 将来方針のためのデータ取得

⑨ 危険ごみ対策(リチウム電池)(P14)

火災リスクが高いリチウム電池の正しい排出方法を明記しています。

■ 重要ポイント

- ・ 取り外し・絶縁
- ・ 透明袋で分別
- ・ 環境処理センター連絡先明記

⑩ 長期的視点(P15)

現状→短期対応→中期→長期という時間軸で将来像を示しています。

3P

■ 重要ポイント

- 現状維持は永続しない
- 段階的移行が必要
- 今から準備する意義

■ 強調すべき 3 点

1. 期限は決まっている(逃げられない現実)
2. マナー違反=税金増大=寿命短縮
3. 実証実験は将来の備えであり決定ではない

なお、500 部は芦屋市の住民課へ芦屋浜・南芦屋浜地区へ引っ越しされる方に配布をお願いしています。

2. マナー違反状況(2025年4月～2026年1月)

① 全体傾向(利用者起因のみ)

主なトラブル:合計約 20 件(4月～翌年1月)

区分	件数	内容
カギ関連	8件	「回らない」「閉まらない」→途中抜き
バケツ詰まり	4件	衣類・紙類・異物混入
投入口内部詰まり	4件	アルミ缶・ごみ押し込み
排出弁詰まり	4件	新聞紙束・布類・スキーウェア等

② 原因分析(構造化)

A. カギトラブル(最多)

原因	<ul style="list-style-type: none"> 摩耗したカギを使用 90度回さず途中抜き 合カギで無理に回す
本質原因	<ul style="list-style-type: none"> 正しい操作が共有されていない 高齢利用者の操作負担 カギ交換ルール未徹底

B. バケツ詰まり

原因	<ul style="list-style-type: none"> 衣類(スキーウェア) 新聞紙束 押し込み投入 アルミ缶混入
本質原因	<ul style="list-style-type: none"> 大きさ制限の認識不足 「押し込めば入る」という誤解 分別理解不足

C. 排出弁詰まり(重大リスク)

原因	<ul style="list-style-type: none"> 新聞紙束 布類 弁への絡まり
本質原因	<ul style="list-style-type: none"> 30cmルール未徹底 袋を縦にして投入 束ねたまま投入

③ 地域傾向:地域別啓発強化が必要

- ・ 若葉町
- ・ 高浜町
- ・ 陽光町

→ 賃貸地域

→ 投入口の利用密度が高い地域

→ 高齢世帯率が高い可能性

④ リスク評価

項目	リスク
カギ摩耗	全体停止の連鎖
排出弁詰まり	吸引不能・管破損
異物混入	管内損傷加速

⑤ 対策(優先順位順)

【最優先】カギ対策(即効性)

1. 「90度回してから抜く」図解掲示(赤文字)
2. 摩耗カギの交換キャンペーン
3. 合カギ禁止明示
4. 投入口に回転角度ステッカー貼付

→ 8件は即減らせる可能性あり

【第2優先】投入ルール強化

1. 30cm以下を視覚化(実寸表示)
2. 「押し込まない」強い表現
3. 結び目は横に
4. 束ねない

→ 写真付き再掲示が効果的

⑥ 啓発の方向性(重要)

現在の啓発は「お願い型」⇒ 今後は: 損失回避型メッセージが有効

- ▶ 「停止=あなたのせい」明確化
- ▶ 税金〇〇万円表示
- ▶ 実際の詰まり写真掲示

⑦ 数値目標提案(2026年度)

項目	現状	目標
利用者起因トラブル	約20件	10件以下
カギトラブル	8件	2件以下
排出弁詰まり	4件	0件

⑧ 私の見解(率直)

現在はまだ「警告段階」です。しかし、この件数が倍増すれば、条例期限前に実質機能停止も現実的です。最大の問題は“知らない”のではなく“軽視している”点。強い啓発と具体的な構造対策を同時に行うべき段階です。

● 利用者起因によるパイプライントラブルデータ

No.	月	日	時	分	秒	曜日	区	機器名 (大分類)	機器名 (小分類)	状態	レベル	現場	トラブル発覚状況	作業内容	復旧	作業時間 (分)	作業時間 (時)	作業時間 (分)	労務費 (円)	巡回・定期	システム異常	備考
1	4	2	水	12:15	—	30118	陽光町	投入口地上部	カギ	閉まらない	B	現場	カギ穴"開"の状態	合カギで正位置にもどす	復旧	2	5	10	500	◎	問い合わせ対応	
2	6	14	土	11:15	—	30118	陽光町	投入口地上部	カギ	回らない	B	現場	カギ穴"開"の状態	合カギで正位置にもどす	復旧	2	10	20	1,000	◎	問い合わせ対応	
3	6	25	水	15:50	—	3071	新浜町	投入口地上部	カギ	回らない	B	現場	カギ穴"開"の状態	合カギで正位置にもどす	復旧	2	5	10	500	◎	問い合わせ対応	
4	7	11	金	14:00	—	5039	高浜町	投入口地上部	カギ	回らない	B	現場	カギ穴"開"の状態	合カギで正位置にもどす	復旧	1	10	10	500	◎	問い合わせ対応	
5	10	21	火	15:50	—	8059	若葉町	投入口地上部	カギ	回らない	B	現場	カギ穴"開"の状態	合カギで正位置にもどす	復旧	1	5	5	250	◎	問い合わせ対応	
6	11	19	水		—	30118	陽光町	投入口地上部	カギ	回らない	B	現場	カギ穴"開"の状態	合カギで正位置にもどす	復旧	1	5	5	250	◎	問い合わせ対応	
7	12	8	月	9:20	—	30118	陽光町	投入口地上部	カギ	回らない	B	現場	カギ穴"開"の状態	合カギで正位置にもどす	復旧	1	5	5	250	◎	問い合わせ対応	
8	12	10	水	11:40	—	3033	浜風町	投入口地上部	カギ	回らない	B	現場	カギ穴"開"の状態	合カギで正位置にもどす	復旧	1	5	5	250	◎	問い合わせ対応	
9	7	29	火	9:20	—	11149	緑町	投入口地上部	バケツ	開かない	B	現場	バケツ下にごみ詰り	ごみ除去・清掃	復旧	2	5	10	500	◎	問い合わせ対応	木製おぼん除去
10	10	14	火	9:10	—	5099	高浜町	投入口地上部	バケツ	開かない	B	現場	その他	ごみ除去・清掃	復旧	2	5	10	500	◎	問い合わせ対応	バケツ内にアルバム詰まり
11	12	24	水	12:20	—	33118	海洋町	投入口地上部	バケツ	ごみ詰り	B	現場	その他	ごみ除去・清掃	復旧	1	30	30	1,500	◎	問い合わせ対応	バケツ内にごみ詰まり(ごみをバケツに押し込んで投入)
12	12	30	火	16:50	—	10029	若葉町	投入口地上部	バケツ	開かない	B	現場	その他	ごみ除去・清掃	復旧	2	15	30	1,500	◎	問い合わせ対応	バケツ内にごみ詰まり(ごみをバケツに押し込んで投入)
13	1	7	水	11:10	—	8019	若葉町	投入口地上部	バケツ	開かない	B	現場	その他	ごみ除去・清掃	復旧	2	15	30	1,500	◎	問い合わせ対応	バケツ内にごみ詰まり(ごみをバケツに押し込んで投入)
14	11	3	月	6:01	○	11041	緑町	投入口地下部	吸気弁	閉異常	B	現場	排出弁にごみかみ込み	ごみ除去・清掃	復旧	2	30	60	3,000	◎	システム異常	段ボール破みこみ
15	9	10	水	5:53	—	30118	陽光町	投入口地下部	貯留ドラム	呑込異常	B	現場	貯留槽にごみ詰り・残留	ごみ除去・清掃	復旧	2	20	40	2,000	◎	システム異常	段ボールにより詰まり発生
16	4	1	火	6:38	○	8079	若葉町	投入口地下部	排出機弁	閉異常	B	現場	排出弁にごみかみ込み	ごみ除去・清掃	復旧	2	20	40	2,000	◎	システム異常	
17	4	5	土	15:51	×	5079	高浜町	投入口地下部	排出機弁	閉異常	B	現場	排出弁にごみかみ込み	ごみ除去・清掃	復旧	2	50	100	5,000	◎	システム異常	
18	4	14	月	15:44	×	8079	若葉町	投入口地下部	排出機弁	閉異常	B	現場	排出弁にごみかみ込み	ごみ除去・清掃	復旧	2	30	60	3,000	◎	システム異常	スキューア等衣類
19	5	1	木	6:04	○	5059	高浜町	投入口地下部	排出機弁	閉異常	B	現場	その他	ごみ除去・清掃	復旧	2	30	60	3,000	◎	システム異常	新聞紙の束
20	5	28	水	5:37	○	3101	新浜町	投入口地下部	排出弁	閉異常	B	現場	排出弁にごみかみ込み	ごみ除去・清掃	復旧	2	30	60	3,000	◎	システム異常	弁に衣類破み込み

3. 輸送管補修状況

芦屋市より2019年以降の輸送管工事の状況報告がありました。

作成:2026年2月24日現在

環境施設課

No	穴あき場所(町名)		発見月	現状	補修状況			備考	
					仮補修 (水中ボンド)	補修方法			
						内張り	外当て		輸送管交換
1	#3071 北系統	新浜町4	2018年 3月	内張材料押え 板摩耗		終了 (2019年2月)		終了 (2022年4月)	
2	#3071 南系統	浜風町1	2018年 3月	内張材料押え 板摩耗		終了 (2019年2月)		終了 (2022年12月)	
3	I-幹線	(地図①)	2022年 2月	内張材料押え 板摩耗・消失		終了 (2022年11月)			
4	I-#300	(地図②)	2022年 2月	摩耗穴下面		再調査の結果 取り止め (2023年1月)			
5	#500	(地図③)	2022年 2月	摩耗穴側面	終了 (2022年2月)	終了 (2022年11月)			信号線露出
6	II-#1200	(地図④)	2022年 2月	摩耗穴側面		終了 (2022年8月)			II-F-2点検口入管
7	II-#1200	(地図⑤)	2022年 2月	摩耗穴側面		終了 (2022年10月)			
8	II-#600	(地図⑥)	2022年 2月	摩耗穴側面		終了 (2022年10月)			
9	II-#600	(地図⑦)	2022年 2月	ピンホール腐食		終了 (2022年11月)			
10	I-#300	(地図⑧)	2022年 2月	ピンホール腐食		終了 (2022年11月)			
11	I-#400	(地図⑨)	2022年 2月	摩耗穴下面	終了 (2022年2月)	終了 (2023年1月)			

No	穴あき場所(町名)		発見月	現状	補修状況			備考
					仮補修 (水中ボンド)	補修方法		
						内張	外当て	
12	I-#400	(地図⑩)	2022年 2月	摩耗穴側面		終了 (2023年1月)		
13	II-#1000	(地図⑪)	2022年 2月	摩耗穴下面		終了 (2023年1月)		
14	II-#1000	(地図⑫)	2022年 2月	ゴムフレキ管 摩耗		終了 (2022年8月)		#1000点検口入管
15	I-4	(地図⑬)	2022年 5月	摩耗穴下面・ ゴミ噛み込み		終了 (2022年7月)		
16	I-6	(地図⑭)	2022年 8月	摩耗穴下面		終了 (2022年10月)		I-6点検口入管
17	I-F-1	(地図⑮)	2022年 8月	摩耗穴下面		終了 (2022年11月)		
18	#3071 北系統	新浜町4 (地図⑯)	2023年 9月 追加: 2024年 9月	摩耗穴側面 (追加)摩耗穴 側面		終了 (2025年1月)	終了 (2025年1月)	追加:本年度管更新 を予定していた箇所の 近くに新たな亀裂を発 見したため、内張補修 を追加するもの。当該 箇所は管亀裂から電 線管露出している
19	II-G-幹 線	緑町7 (地図⑰)	2023年 12月	摩耗穴下面			終了 (2024年12月)	R6.7水没原因
20	I-2-幹 線	浜風町18 (地図⑱)	2024年 9月	摩耗穴下面			終了 (2025年1月)	
21	II-7-幹 線	高浜町7 (地図⑲)	2024年 9月	摩耗穴上面		終了 (2025年2月)		交通用の信号基礎の 存在により管更新不可
22	#4019 南系統	高浜町9 (地図⑳)	2024年 6月	摩耗穴上面			終了 (2024年11月)	R6.6土砂流入原因

No	穴あき場所(町名)		発見月	現状	補修状況			備考
					仮補修 (水中ボンド)	補修方法		
						内張	外当て	
23	I系幹線	浜風町 31 (地図⑳)	2024年 8月	穴あき	終了 (2026年1月)			
24	I-#300	新浜町 4 (地図㉑)	2024年 9月	穴あき			終了 (2026年2月)	
25	II-#600	浜風町 15 (地図㉒)	2024年 8月	穴あき		終了 (2026年2月)		
26	II-#800	若葉町 5 (地図㉓)	2024年 8月	内張り破損		終了 (2026年2月)		
27	II-#800	若葉町 5 (地図㉔)	2024年 8月	穴あき			終了 (2026年2月)	
28	II-#800	若葉町 4 (地図㉕)	2024年 8月	ピンホール		終了 (2025年12月)		
29	II-#800	若葉町 7 (地図㉖)	2025年	穴あき		終了 (2026年2月)		

1月下旬よりパイプラインの補修工事を5箇所にて順次実施しております。その内1箇所(新浜町のラヴェール前)にて管路交換を実施する際に工事箇所より下流側が3日間ほど運転停止(期間:令和8年2月18日(水)~20日(木))となりましたので臨時収集を実施していました。この管路交換については予定通り先週土曜日で完了しています。

管路が曲がる箇所でしたのでゴミが当たり、こぶし大の穴が開いており吸引する空気も漏れておりました。現在はパイプラインの運転も通常に戻っております。

輸送管補修状況計画-2026年度以降

作成:2026年2月24日作成

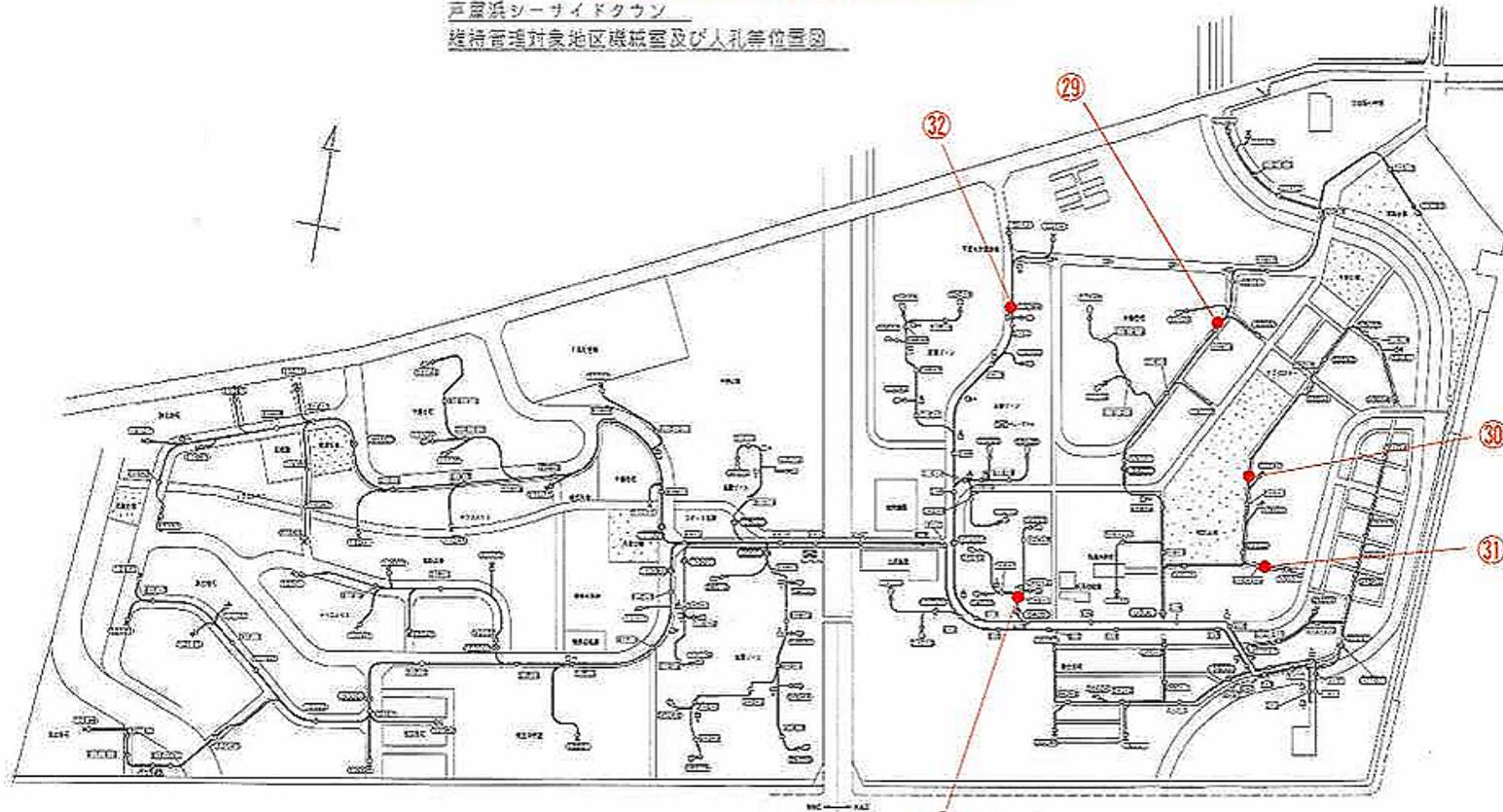
環境施設課

No	穴あき場所(町名)		発見月	現状	補修状況			備考
					仮補修 (水中ボンド)	補修方法		
						内張り	外当て	
30	I-#400	高浜町9 (地図⑳)	2025年 8月	穴あき		○		
31	I-#300-G	新浜町5 (地図㉑)	2025年 8月	穴あき		○		
32	I-#300-K	浜風町2 (地図㉒)	2025年 8月	穴あき		○		
33	I-#300-K-1	浜風町8 (地図㉓)	2025年 11月	穴あき		○		
34	I-#500	高浜町4 (地図㉔)	2025年 8月	穴あき	検討中			

2026 年度(令和 8 年度)以降計画図

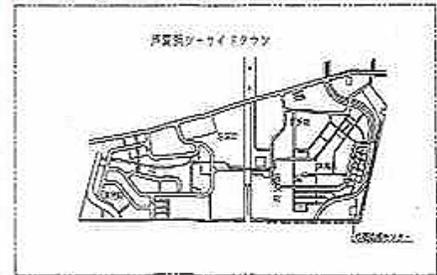
令和 8 年度以降 補修予定箇所 位置図

戸部浜シーサイドタウン
 雑居型高層マンション区画図及び人礼舎位置図



住居環境改善計画表

区分	種別	戸数	完成時期	計画区分
1	高層型高層マンション	10	2014	1
2	高層型高層マンション	10	2015	2
3	高層型高層マンション	10	2016	3
4	高層型高層マンション	10	2017	4
5	高層型高層マンション	10	2018	5
6	高層型高層マンション	10	2019	6
7	高層型高層マンション	10	2020	7
8	高層型高層マンション	10	2021	8
9	高層型高層マンション	10	2022	9
10	高層型高層マンション	10	2023	10
11	高層型高層マンション	10	2024	11
12	高層型高層マンション	10	2025	12
13	高層型高層マンション	10	2026	13
14	高層型高層マンション	10	2027	14
15	高層型高層マンション	10	2028	15
16	高層型高層マンション	10	2029	16
17	高層型高層マンション	10	2030	17
18	高層型高層マンション	10	2031	18
19	高層型高層マンション	10	2032	19
20	高層型高層マンション	10	2033	20
21	高層型高層マンション	10	2034	21
22	高層型高層マンション	10	2035	22
23	高層型高層マンション	10	2036	23
24	高層型高層マンション	10	2037	24
25	高層型高層マンション	10	2038	25
26	高層型高層マンション	10	2039	26
27	高層型高層マンション	10	2040	27
28	高層型高層マンション	10	2041	28
29	高層型高層マンション	10	2042	29
30	高層型高層マンション	10	2043	30
31	高層型高層マンション	10	2044	31
32	高層型高層マンション	10	2045	32



4. 令和7年度2月のワーキンググループの報告

1. 目的

老朽化するパイプラインに代わるとごみ収集方法の検討を進めるため、

- ①モニター実施の準備状況確認
- ②ゴミ庫・カート収納方式の仕様整理
- ③評価アンケート設計 を協議しました。

2. 前回確認事項(方針の再確認)

- ・ ゴミ庫・収納ボックスは建築物としない方針
- ・ 実証実験は今後「モニター実施」と呼称
- ・ 実証実験でのアンケートは月1回×3回実施
- ・ 回答は原則WEB、紙回答はID付与で重複防止

3. パイプライン一時停止地域(高浜町2)の現状

- ・ ルール違反多発により運転再開は見送り
- ・ 臨時収集を継続(週3回→2回へ縮減/2月より)
- ・ 管理人によるマナー違反者への指定袋への入替行為あり(実態確認をURへ要請)
- ・ 強い警告文チラシ配布、破袋調査予告

4. モニター実施の選定状況

- ・ 高層:指定場所が遠く再検討中
- ・ 中層:文書配布済み、反応待ち
- ・ タウンハウス:辞退あり、再交渉中
- ・ 戸建:街区総会で説明予定

整理すべき点:

- ・ 市が決めるルールと自治会が決めるルールの区分
- ・ 各方式のメリット・デメリットの明示

共通課題(安全性・維持管理コストが成否を左右)

- ・ 可動部の耐久性(ヒンジ・ダンパー)
- ・ メンテナンス体制
- ・ 清掃水道の設置可否(基本料金問題)

5. アンケート設計(素案)

評価項目

- ・ 安全性
- ・ 使いやすさ
- ・ 距離・動線
- ・ 時間帯

14P

- 生活影響
- 飛散・臭気
- 景観
- 総合比較(第3回のみ)

特徴

- 4段階評価
- 属性(年代・性別)
- A3中折(1枚に収める)
- ID管理による重複防止

6. 今後の予定

- 第14回WG:3月10日
- 利用者の会:2月26日
- 第50回協議会:日程調整中

総括

現在の議論は「設備仕様の検討段階」にあるが、実態を見る限り、最大の課題は**運用ルールの遵守と住民合意形成**です。方式の優劣だけでなく、

- 管理責任の所在
- 維持コスト
- ルール違反への対応設計 まで踏み込んだ整理が不可欠となります。

以上